

2019年2月15日
第127号
(Web版第21号)

日本犯罪社会学会ニュース

発行

日本犯罪社会学会
JAPANESE ASSOCIATION OF
SOCIOLOGICAL CRIMINOLOGY

- I 第45回大会開催報告
- II 理事会開催報告
- III 第45回総会開催報告
- IV 第46回(2019年度)大会 テーマセッション企画募集
- V 第46回(2019年度)大会 自由報告募集
- VI 第18回(2019年度)「日本犯罪社会学会奨励賞」自薦・他薦の募集
- VII 各部・委員会報告
- 付 会計資料

※第107号からニューズレターはWebのみで発行しております。

※会員動向につきましては、年間1回、会員のみに詳細版を郵送いたします。

I 第45回大会開催報告

日本犯罪社会学会第45回大会が、2018年10月20日（土）、21日（日）の2日間にわたり、平井佐和子会員を大会実行委員長に西南学院大学（福岡県福岡市早良区）において開催されました。今回も成功のうちに大会を終えることができました。これも会場となった西南学院大学の関係者の皆様によるご尽力をはじめ、会員の皆様のご協力のたまものです。ありがとうございました。

『日本犯罪社会学会第45回大会報告要旨集』は、学会ウェブサイトにも3月上旬にアップロードされる予定です。大会の内容につきましては、そちらの要旨集をご覧ください。

II 理事会開催報告

2018年10月19日（金）の17時から、西南学院大学学術研究所大会議室にて、第16期第3回全国理事会が開かれ、総会に発議・報告する事案についての検討が行われました。

開会時点において、出席理事数15名、委任状提出理事8名の計23名であり、定足数を満たしていることが確認されました。

1. 審議案件は以下のとおりでした。

(1) 2017年度一般会計決算案、2017年度特別会計決算案について山本会計理事より提議され、承認されました。(2) 2017年度一般会計監査について松宮監事より会計事務が適正に執行されているとの監査結果が報告され、承認されました。(3) 2018年度一般会計補正予算案・2019年度一般会計予算案、2019年度特別会計予算案について山本会計理事より提議され、承認されました。(4) 2019年度若手研究者海外派遣補助事業の対象者拡大について笹倉渉外広報理事より提議され、承認されました。(5) 人文社会科学系協会男女共同参画推進連絡会の会費等について、笹倉渉外広報理事より提議され、常任理事会審議案件とすることで承認されました。(6) 名誉会員の承認について、矢島正見会員を推挙することが石塚会長より提議され、承認されました。(7) 新入会員の入会承認について佐々木庶務理事より提議され、4名の入会が承認されました。

2. 報告事項は以下のとおりでした。

(1) 奨励賞の選考結果について久保奨励賞選考委員長より、本年度の奨励賞選考過程について詳細な説明がありシルビア・クロイドン会員の『The Politics of Police Detention in Japan: Consensus of Convenience』に決定したことが報告されました。(2) 『犯罪社会学研究』自由投稿論文締切日の変更について、原田編集委員長より次号から自由投稿論文の締切日が3月31日になったことが報告されました。(3) 第44回大会及び第2回犯罪学合同大会の会計について、本庄・前渉外広報委員長より報告されました。(4) 各部・委員会報告では、各部・委員会から1年間の活動について報告しました。(5) 石塚会長より、2020年のアジア犯罪学会の概要について説明があり、10月20日の総会で会員向けにアナウンスする予定であることが報告されました。最後に、石塚会長から、第46回大会開催校は淑徳大学千葉キャンパスであり、大会実行委員長は野田陽子会員であることが報告されました。また、第46回大会実行委員長挨拶として野田陽子会員が挨拶しました。

Ⅲ 第 45 回総会開催報告

2018年10月20日（土）に西南学院大学2号館Ⅱ-407教室にて16時55分から第45回総会が開かれました。本部事務局庶務部が開会を宣言し、総会議長に飯野海彦会員と仲野由佳理会員が選出され、審議案件と報告事項は総会議長によって議事進行が行われました。

1. 審議案件は以下のとおりでした。

(1) 2017年度一般会計決算案、2017年度特別会計決算案について山本会計理事より提議され、承認されました。(2) 2017年度一般会計監査について松宮監事より会計事務が適正に執行されているとの監査結果が報告され、承認されました。(3) 2018年度一般会計補正予算案・2019年度一般会計予算案、2019年度特別会計予算案について山本会計理事より提議され、承認されました。(4) 名誉会員の承認について、矢島正見会員を推挙することが石塚会長より提議され、承認されました。

2. 報告事項は以下のとおりでした。

(1) 奨励賞の選考結果について久保奨励賞選考委員長より、本年度の奨励賞選考過程について詳細な説明がありシルビア・クロイドン会員の『The Politics of Police Detention in Japan: Consensus of Convenience』に決定したことが報告され、受賞挨拶を庶務部が代読しました。(2) 第44回大会及び第2回犯罪学合同大会の会計について、本庄・前渉外広報委員長より報告されました。(3) 『犯罪社会学研究』自由投稿論文締切日の変更について、原田編集委員長より次号から自由投稿論文の締切日が3月31日になったことが報告されました。(4) 2019年度若手研究者海外派遣補助事業の対象者拡大について、浜井渉外広報委員長より報告されました。(5) 人文社会科学系協会男女共同参画推進連絡会の会費等について、浜井渉外広報委員長より今後の常任理事会で検討することが報告されました。(6) 各部・委員会報告では、各部・委員会から1年間の活動について報告しました。(7) 石塚会長より、2020年のアジア犯罪学会の概要について説明がありました。

最後に、石塚会長から、第46回大会開催校は淑徳大学千葉キャンパスであり、大会実行委員長は野田陽子会員であることが報告されました。また、第46回大会実行委員長挨拶として野田陽子会員が挨拶しました。

以上の議事を終え、本部事務局庶務部が閉会を宣言しました。

Ⅳ 第 46 回(2019 年度)大会 テーマセッション企画募集

第46回大会は2019年10月19日（土）、20日（日）に淑徳大学（千葉県千葉市中央区）で開催されます。研究委員会では、テーマセッションの企画を会員の皆様より募集します。犯罪社会学あるいは関連する周辺諸分野について現在関心をお持ちのテーマがありましたら、奮ってご応募ください。

なお、現時点では、テーマセッションの開催される日と時間帯は未定です。また、第36回大会より、それまでのミニシンポジウムとラウンドテーブル・ディスカッションの区分を廃し、統一して「テーマセッション」として開催しております。

●申込方法：電子メールにて、以下の項目をお知らせください。

・ Subject (件名) : テーマセッション申込み

・ 本文

申込者氏名 :

申込者所属 :

企画テーマ :

セッション形式 : ラウンドテーブル・ディスカッション or ミニシンポジウム

プロジェクトの要否 :

※大学に所属のある場合、教員等は「〇〇大学」、大学院生は「〇〇大学大学院」と記載してください。

●申込先アドレス : hansha.kenkyu2019@gmail.com

※学会事務局など、上記以外への申込みはご遠慮ください。

●申込期限 : 2019年3月20日(水) 必着

●問い合わせ先 : 日本犯罪社会学会研究委員会 (担当委員 : 水藤 昌彦)

電子メールアドレス : hansha.kenkyu2019@gmail.com

●連絡事項 :

*各テーマセッションの時間として180分を確保します。

*形式は、ラウンドテーブル・ディスカッション、ミニシンポジウムのどちらでも結構です。申込みの際、希望の形式をお知らせください。

*報告者・話題提供者等は、申込みの段階では未定でも構いません。

*プロジェクトの使用を希望される場合は、その旨を申込みの際にお知らせください。なお、大会当日に報告者ご自身でご持参いただく機材(PC、USBメモリ等)については、使用会場の設備が決定次第、研究委員会からご連絡します。

*申込みを受理しましたら、今後の予定などについて、研究委員会より折り返しご連絡します。申し込みから1週間を経過してもこの連絡がないときは、メールの不調などが理由で申込みが不着であることが考えられます。その場合は、お手数ですが、事務局(hansha@daishodai.ac.jp)にも同報でメールをお送りいただき、お問い合わせいただきますようお願いいたします。

*プログラム構成上の制約により大会期間中に開催できるテーマセッションの数には限りがあるため、応募が多数であった場合は調整させていただくことがあり得ます。応募が受理できない場合は、研究委員会より4月末までにその旨をご連絡いたします。

*テーマセッション開催日時指定はできません。ご了承ください。

V 第46回(2019年度)大会 自由報告募集

研究委員会では、会員の皆様の自由報告を募集します。

●申込方法 : 電子メールにて、以下の項目をお知らせください。

・ Subject (件名) : 自由報告申込み

・ 本文

申込者氏名(所属) :

共同研究者氏名(所属) :

報告タイトル :

プロジェクトの要否 :

※大会プログラムに掲載する報告概要原稿(150字以上200字以内)を添付してください。

※大学に所属のある場合、教員等は「〇〇大学」、大学院生は「〇〇大学大学院」と記載してください。

※グループの場合、当日報告される方の氏名の前に「〇」をつけてください。

※申込者及び報告者は、会員に限ります。

●申込先アドレス：hansha.kenkyu2019@gmail.com

※学会事務局など、上記以外へのお申込みは、ご遠慮ください。

●申込期限：2019年6月8日（土）必着

●問い合わせ先：日本犯罪社会学会研究委員会（担当委員：水藤 昌彦）

電子メールアドレス：hansha.kenkyu2019@gmail.com

●連絡事項：

*自由報告は1名でもグループでも申し込めます。

*申込者と報告者は会員に限ります。共同研究者は非会員でも構いませんが、当日の報告はできません。

*1件の申込みにつき1つの報告となります。

*会員1名につき、申込み及び報告は1件までとなります。ただし、他の報告者の共同研究者となることは妨げません。

*報告時間は1件30分以内（報告時間：20分程度、質疑応答：10分程度）となります。共同研究者がいる場合でも、報告時間は変わりませんのでご注意ください。

*申込みの時点で大会プログラムに掲載する報告概要の原稿（150字以上200字以内）をご提出ください。提出された報告概要原稿は、原則として修正できません。

*大会プログラムに掲載された報告概要の著作権は、日本犯罪社会学会に帰属します。

*プロジェクトの使用を希望される場合は、その旨を申込みの際にお知らせください。なお、大会当日に報告者ご自身でご持参いただく機材（PC、USBメモリ等）については、使用会場の設備が決定次第、研究委員会からご連絡します。

*申込みを受理しましたら、今後の予定などについて、研究委員会より折り返しご連絡します。申し込みから1週間を経過してもこの連絡がないときは、メールの不調などが理由で申込みが不着であることが考えられます。その場合は、お手数ですが、事務局(hansha@daishodai.ac.jp)にも同報でメールをお送りいただき、お問い合わせいただきますようお願いいたします。

*自由報告実施の日時や会場の指定はできません。ご了承ください。

VI 第18回(2019年度)「日本犯罪社会学会奨励賞」自薦・他薦の募集

日本犯罪社会学会では、犯罪、非行、刑事司法、及び、それらに関連する諸事象に関する社会科学的研究の活性化と発展のため、そして、知的資産の不断の蓄積および学術内容の更なる質的向上のため（特に若手研究者への刺激と登龍門として）、「日本犯罪社会学会奨励賞」を創設し、受賞研究業績を選考し表彰しております。

2019年度は、論文が選考対象となる年です。2017年4月から2019年3月までに公表された、原則として満35歳以下の会員（受賞時点で会員であること）による論文の自薦・他薦を募集いたします。ノミネートの期限は2019年3月31日（消印有効）です。詳細は学会ホームページの「奨励賞規約」をご覧ください。

自薦・他薦いただく際には、以下の情報を記した書面とともに、選考対象論文を5部、学会事務局宛ご送付いただくようお願いいたします。封筒に「奨励賞応募論文在中」とご明記ください。なお、応募された論文5部は返却いたしません。

- 1) 選考対象の著者名（フリガナ）、連絡先住所、電話番号、メールアドレス
- 2) 選考対象者の生年月日
- 3) 選考対象論文名、掲載誌名、出版年月日
- 4) 他薦の際には、推薦者の連絡先住所、電話番号、メールアドレス

日本犯罪学会 事務局

〒577-0036 東大阪市御厨栄町 3-1-35 学術センター U-Box 2階

Ⅶ 各部・委員会報告

1 研究委員会

第46回大会は2019年10月19日（土）から20日（日）に、淑徳大学（千葉県千葉市中央区）で開催されます。詳細が決まりましたら、ニューズレター及び学会ウェブサイトでお知らせします。

2 編集委員会

『犯罪社会学研究』43号が発行されました。皆様のご協力に感謝いたします。

(1) 自由投稿論文の募集について

44号の自由論文・研究ノートの投稿締切りは**2019年3月31日消印有効**です。今号から投稿締切りが早まっておりますのでご注意ください。HPおよび犯罪社会学研究に記載されている投稿規程に従って、下記住所宛にご送付ください。なお、投稿締切りに関して、特別な事情のある方は、必ず事前に編集委員会までご相談下さい。投稿は常時受け付けております。会員の皆様のご投稿をお待ちしております。本誌が犯罪社会学の自由な学術フォーラムとなることを期待しています。

<自由論文・研究ノートの投稿先>

〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-10 八ッ橋ビル 7階 現代人文社気付

日本犯罪学会編集委員会

学会誌編集業務に関するご意見・ご質問につきましては、下記までお寄せください。

<編集委員会事務局>

hanshahenshu16@gmail.com

(2) 自由投稿論文の英文校閲について

今号より、自由投稿論文の英文要旨については、投稿時点で筆者の責任においてしかるべき方法で英文校閲をおこなっていることを投稿の要件といたします。なお、査読過程で英文要旨の修正を求められることがありますので、あらかじめご了承ください。

3 渉外広報委員会

(1) 若手研究者海外派遣補助事業

アジア犯罪学会・ヨーロッパ犯罪学会・アメリカ犯罪学会で研究報告を行う若手研究者を対象として、渡航費用の一部補助いたします。補助費用の上限は10万円、募集人数は2名程度、応募締切は3月末日となっております。詳細については学会ホームページをご参照のうえ、奮ってご応募ください。

(2) 研究会助成について

渉外広報委員会では、犯罪社会学に関する研究会に対し、助成を行っております。年度ごとに2件、1件あたりの助成金は40,000円です。

詳しくは学会ホームページ(<http://hansha.daishodai.ac.jp/kenkyukai/index.html>)をご参照の上、奮ってご応募ください。

4 本部事務局会計部

会費納入のお願い

まだ2018年度の会費をお支払い頂いていない方は、郵便振込にて会費を納入されるようお願い申し上げます。金額、口座番号および口座名は下記の通りです。

また、領収書をご希望の方は払込票の通信欄にその旨を記入して下さい。

通常会員 8,000円

但し、院生会員 6,000円 (大学院に在籍し、かつ常勤の職を有しない会員)

国外会員 7,000円 (国外に在住し、かつ国内に連絡先を有しない会員)

郵便振替口座 00950-2-148284

加入者名 日本犯罪社会学会

会費を3年未納となりますと年度末で退会扱いとなります。滞納されていて会員の資格についてご確認なされたい方、また退会をお考えの方は、その旨を事務局まで御一報下さい。

なお、銀行振込や小切手での会費の支払いは受け付けておりませんのでご注意ください。

5 本部事務局庶務部

(1) 献本 (2018年7月12日～2019年1月10日現在)

下記の通り献本がありました。ご報告少々、お礼申し上げます。

- ・井上眞理子著 『ファミリー・バイオレンスと地域社会－臨床社会学の視点から－』 多賀出版
- ・太田達也著 『刑の一部執行猶予[改定増補版] 犯罪者の改善更生と再犯防止』
慶應義塾大学出版会
- ・科学警察研究所 『科学警察研究所報告』 第67巻第2号
- ・警察政策研究センター 『警察政策研究』 第21号

・・・・・・・・・・・・・・・・以上4冊

(2) 会員数 (2019年1月10日現在)

一般会員475名、名誉会員13名、終身会員1名、特別会員2団体、合計491名

※個人情報保護のため、ニューズレターの記載は人数のみとします。会員各位には、年間1回、会員動向の詳細版を郵送いたします。

お願い

転勤等で所属や連絡先を変更された場合は、学会事務局まで速やかにご連絡下さい。
事務局では、会員の皆様からのご意見、ご要望、インフォメーションなど随時承っております。

.....
日本犯罪社会学会 事務局

〒577-0036 東大阪市御厨栄町3-1-35 学術センター U-Box 2F

TEL : 06-6618-4324 (月～金 10:00-16:00)

FAX : 06-6781-8883

E-mail : hansha@daishodai.ac.jp

*お問い合わせ・ご連絡は、なるべくメールでお願いいたします。
.....

日本犯罪社会学会2017年度一般会計決算

収 入 費 目	内 訳	2017年度決算	2017年度補正予算	2017年度予算	
収 入	学 会 費	通常会員：463名中480件（内一般459件、院 生21件）103.7%、3,691,000円 （特別会員） 日工組社会安全研究財団：200,000円 龍谷大学矯正・保護総合センター：50,000円	3,941,000	3,154,300	3,142,600
	寄 付 金	学文社	20,000	0	0
	機 関 誌 売 上 代	機関誌42号(11冊)、大会要旨集(1冊)	36,828	60,000	60,000
	広 告	現代人文社、成文堂、日本評論社、龍谷大学 犯罪学研究センター：各15,000円	60,000	60,000	60,000
	預 貯 金 利 息	ゆうちょ：35円、銀行口座：0円	35	1,000	1,000
	小 計		4,057,863	3,275,300	3,263,600
	前 年 度 繰 越 金		4,868,615	4,868,615	4,391,111
合 計		8,926,478	8,143,915	7,654,711	

支 出 費 目	内 訳	2017年度決算	2017年度補正予算	2017年度予算	
支 出	印 刷 費	ニュース・会合通知・資料等印刷、コピー費	78,670	80,000	80,000
	通 信 ・ 交 通 費	ニュース・機関誌等郵送料、交通費、連絡費	1,289,270	1,004,600	1,090,000
	会 議 ・ 会 合 費	理事会・各委員会・事務各種作業打ち合わ せ、部内研究会	37,911	60,000	60,000
	備 品 ・ 消 耗 品 費	事務用備品、封筒等消耗品	93,752	33,000	33,000
	人 件 費	学会事務、ニュース・機関誌発送アルバイト 代等	176,500	260,000	350,000
	謝 金	大阪商業大学事務局への謝礼	0	0	0
	大会準備関係費	プログラムの印刷発送、大会準備に要する費 用	424,614	350,000	350,000
	大会報告要旨集	大会報告要旨集の印刷	0	0	0
	大会補助費	大会開催校への大会運営補助金	100,000	100,000	100,000
	機関誌買上費	機関誌42号作成経費、抜き刷り印刷費	1,347,516	1,190,000	1,190,000
	選挙関係積立費	理事選挙費用、名簿作成のための積立金	131,000	131,000	131,000
	そ の 他	労災保険料、慶弔費	7,659	1,000	1,000
	小 計		3,686,892	3,209,600	3,385,000
	予 備 費		5,239,586	4,922,615	4,269,711
合 計		8,926,478	8,132,215	7,654,711	

以上の通り、一般会計に関してご報告致します。

2018年10月21日

会計理事

山本 功

会計理事

小長井 賢典

監査の結果、一般会計収支決算に誤りのないことを認めます。

2018年10月21日

監 事

前田 忠弘

監 事

松宮 孝明

日本犯罪社会学会2017年度選挙関係特別会計決算

収入費目	内訳	2017年度決算	2017年度予算
選挙関係積立費	2016年度残高	539,531	539,544
	2017年度積立金	131,000	131,000
預貯金利息		4	100
合計		670,535	670,644

支出費目	内訳	2017年度決算	2017年度予算
選挙関係費		418,381	393,000
積立金繰越金		252,154	277,644
合計		670,535	670,644

日本犯罪社会学会2017年度奨励賞基金特別会計決算

収入費目	内訳	収入額
寄付	なし	0
前年度繰越金	2017年度寄付金残高	533,567
預貯金利息		4
収入合計		533,571

支出費目	内訳	支出額
賞金	副賞	0
通信・交通費	奨励賞関係送付料金	700
備品・消耗品費	祝儀袋代・賞状・賞状筒代 (送料・代引き手数料込み)	0
支出小計		700
次年度繰越金		532,871
支出合計		533,571

日本犯罪社会学会2017年度研究基金特別会計決算


収入費目	内訳	収入額
預貯金利息		12
寄付金	第43回大会実行委員会	100,000
前年度繰越金		1,388,607
収入合計		1,488,619

支出費目	内訳	支出額
研究会補助費		0
通信・交通費		0
若手研究者海外派遣補助費		0
次年度繰越金		1,488,619
支出合計		1,488,619


以上の通り、特別会計に関してご報告致します。

2018年10月21日

会計理事

山本 功 


会計理事

小長井 賀與 


監査の結果、特別会計収支決算に誤りのないことを認めます。

2018年10月21日

監 事

前田 忠弘 

監 事

松宮 李明 

日本犯罪社会学会2018年度一般会計補正予算・2019年度予算

収入費目	内 訳	2019年度予算	2018年度補正予算	2018年度予算	
収入	学 会 費	(通常会員) 467名(内一般434名、院生30名、 国外3名) 90% 3,305,700円 (特別会員) 日工組社会安全研究財団200,000 円 龍谷大学矯正・保護総合センター 50,000円	3,555,700	¥3,555,700	3,541,300
	寄 付 金		0	0	0
	機 関 誌 売 上 代	機関誌売上	60,000	60,000	60,000
	広 告	出版社等広告	60,000	60,000	60,000
	預 貯 金 利 息		100	¥100	1,000
	小 計		3,675,800	¥3,675,800	3,662,300
	前 年 度 繰 越 金		5,021,886	¥5,239,586	4,922,615
合 計		8,697,686	¥8,915,386	8,584,915	

支出費目	内 訳	2019年度予算	2018年度補正予算	2018年度予算	
支出	印 刷 費	ニュース・会合通知・資料等印刷、 コピー費	80,500	¥80,500	80,000
	通 信 ・ 交 通 費	ニュース・機関誌等郵送料、交通 費、連絡費	1,514,000	¥1,573,000	1,094,000
	会 議 ・ 会 合 費	理事会・各委員会・事務各種作業 打ち合わせ、部内研究会	60,000	60,000	60,000
	備 品 ・ 消 耗 品 費	事務用備品等消耗品購入	33,000	33,000	33,000
	人 件 費	学会本部事務、ニュース・機関誌 発送アルバイト代等	350,000	¥350,000	360,000
	謝 金	大阪商業大学事務局および大会 校事務局への謝礼	10,000	¥10,000	20,000
	大 会 準 備 関 係 費	プログラムの印刷発送、大会準備 に要する費用	385,000	¥355,000	350,000
	大 会 報 告 要 旨 集	大会報告要旨集の印刷	0	0	0
	大 会 補 助 費	大会開催校への大会運営補助	100,000	100,000	100,000
	機 関 誌 買 上 費	機関誌44号作成経費、抜き刷り印 刷費	1,200,000	¥1,200,000	1,190,000
	選 挙 関 係 積 立 費	理事選挙費用、名簿作成のため の積立金	131,000	131,000	131,000
	そ の 他	労災保険料、慶弔費等	1,000	1,000	1,000
	小 計		3,864,500	¥3,893,500	3,419,000
	次 年 度 繰 越 金		4,833,186	¥5,021,886	5,165,915
合 計		8,697,686	¥8,915,386	8,584,915	

¥マークを付した箇所が補正予算による変更箇所

日本犯罪社会学会2019年度選挙関係特別会計予算

収入費目	2019年度予算 内訳	収入額	2018年度予算 内訳	収入額	2017年度予算 内訳	収入額
選挙関係積立金	2018年度積立金残高	383,154	2017年度積立金残高	277,644	2016年度積立金残高	539,544
	2019年度積立金	131,000	2018年度積立金	131,000	2017年度積立金	131,000
預貯金利息		10		100		100
合計		514,164		408,744		670,644

支出費目	2019年度予算 内訳	支出額	2018年度予算 内訳	支出額	2017年度予算 内訳	支出額
選挙関係費	選挙名簿作成、会員名簿作成	0	選挙名簿作成、会員名簿作成	0	選挙名簿作成、会員名簿作成	393,000
繰越金		514,164		408,744		277,644
合計		514,164		408,744		670,644

日本犯罪社会学会2019年度奨励賞基金特別会計予算

収入費目	内訳	収入額
繰越金	2018年度寄付金残高	418,871
預貯金利息		10
収入合計		418,881

支出費目	内訳	支出額
通信交通費	著作物郵送代	4,000
備品消耗品費	祝儀袋、賞状代	10,000
賞金	¥100,000×1人	100,000
次年度繰越金		304,881
支出合計		418,881

日本犯罪社会学会2019年度研究基金特別会計予算

収入費目	内訳	収入額
繰越金	2018年度繰越金	1,108,619
預貯金利息		100
収入合計		1,108,719

支出費目	内訳	支出額
研究会補助費	40,000円×2件	80,000
若手研究者海外派遣補助事業	100,000円×2件	200,000
犯罪学セミナー運営費	100,000円	100,000
次年度繰越金		828,719
支出合計		1,108,719